

■2016/12/5（月） 第30回環境情報科学 学術研究論文発表会プログラム

会場：日本学会館 大講堂および小会議室（市ヶ谷）

内訳：口頭発表 54題・ポスター発表 4題

A会場(大講堂)						B会場(大講堂)						C会場(204会議室 円卓)						D会場(203会議室)						E会場(201会議室)						
セッション テーマ	座長	論文 No.	タイトル	第一執筆 者	所属	セッション テーマ	座長	論文 No.	タイトル	第一執筆 者	所属	セッション テーマ	座長	論文 No.	タイトル	第一執筆 者	所属	セッション テーマ	座長	論文 No.	タイトル	第一執筆 者	所属							
9:00 受付開始																														
9:25 委員長開会挨拶																														
9:30 環境政策	籠 義樹	106	足尾銅山、別子銅山、日立鉱山における公害対策の実施要因についての検討	浅木洋祐	北海道教育大学国際地域学科	Oポスター発表							生態系・水環境	錦澤滋雄	19	外来植物ヒメツルソバ種子の発芽に及ぼす光・温度の影響	中野信宜	大阪府立大学生命環境科学研究科	農村・都市・地域計画	伊藤 弘	47	黄土高原の小流域におけるコムギ・コマメの供給元の立地特性と流通形成の背景 — 陝西省呉起県のスーパーマーケットを例に	原裕太	京都大学大学院地球環境学舎	気候変動・エネルギー	本下晶晴	14	再生可能エネルギーの導入による地域再生への期待：日本と韓国の国民意識の比較分析	白井信雄	法政大学サステイナビリティ実践知研究機構
			98	調布保谷線（調布・三鷹区間）における既存樹木を利用した街路樹整備事業の特徴—元の敷地所有形態に着目して	富樫大輝		中央大学大学院理工学研究科	論文 No.	タイトル	第一執筆 者	所属				30	希少種保全活動に関するデータのオープン化への対応と課題の検討 — ツシマヤマネコ保全活動を事例として	堤田成政	京都大学地球環境学舎		105	立地特性からみた中華民国時代の青島八大関別荘と周辺環境の関係	王 培敏	千葉大学大学院園芸学研究科	65		地域再生可能エネルギー事業における中間支援組織の活動と機能	平岡俊一	北海道教育大学教育学部		
	10:00	朝日ちさと	43	Policy Adaptation Cost for Mitigation of Price Variation of Rice under Climate Change in Bangladesh	Salam, Md. Abdus		筑波大学大学院生命環境科学研究科	8	Obligation to the environment or Pursuit of Stylish Lifestyle: Which is More Important as a Determinant Factor for Intention of Green Consumer Behavior in the United States	脇田和美	東海大学海洋学部海洋文明学科	46		小規模閉鎖性水域の植物プランクトン増殖抑制に関するモデル実験	長坂貞郎	日本大学生物資源科学部	70	ベトナム中部農村におけるアカンア林業地の環境条件に関する空間分析		時任美乃理	京都大学大学院地球環境学舎	75	寒冷地における住宅向け地域熱供給システムの衰退事例から学ぶ普及課題	浦上健司		日本大学生物資源科学部				
			15	市区町村の環境政策分野における「計画の発生」現象の解明	増原直樹		総合地球環境学研究所	32	企業における身近な自然環境を題材とした環境教育プログラムの効果と効果的な内容・形態	甲野毅	大妻女子大学家政学部	3		野付湾流入河川における流域土地利用による河川水質への影響	佐々木章晴	北海道当別高等学校	加藤和弘	12		都市公園における民間事業者導入制度の展開経緯とその構造に関する研究	舟引敏明	宮城大学事業構想学部	63	出力抑制が太陽光発電事業に与えるリスク分析		吉岡 剛	科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター			
10:30		35	協働ガバナンス・アプローチによるコウトリ米とトキ米の普及プロセスの比較研究	岩田優子	早稲田大学アジア太平洋研究科	37	Public Access to Information and Participation in Decision-Making over International River Management - Comparative Studies on the Institutional Frameworks for Managing the Mekong River and the Danube River and Their Basins	小林正典	横浜国立大学	29	水田地域におけるカヤネズミの営巣状況に関する研究	黒田貴綱	日本大学生物資源科学部	41	中国雲南省における生態系保全政策への選好多様性を考慮した経済評価	安 可	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	111	気候変動適応策に関するオンライン熟議におけるトピック間の関係性の可視化	岩見 麻子	愛知工業大学地域防災研究センター									
11:00	気象・熱環境	辰己賢一	67	親水性を有する不織布を用いたテントユニットによる暑熱環境緩和に関する研究	三坂育正	日本工業大学工学部	69	動物園における来園者の行動と解説板の設置位置との関係性	金澤朋子	日本大学生物資源科学部	9	侵略的外来種管理における早期対応論と政策過程—水陸両生外来植物対策に関する事例研究	上河原康二	滋賀県立大学環境科学部	長坂貞郎	100	ため池群の成り立ちおよびため池環境を守る今後の保全管理についての考察—いのみ野台地を事例として	和田 有朗	滋賀県立大学環境科学部	109	鉄道踏切における一時停止義務の廃止による環境負荷物質の削減効果	小林貴	中央大学理工学部							
			61	屋外ネットワークカメラを用いた雲のステレオ観測	小田僚子	千葉工業大学創造工学部	環境情報科学ポスターセッション (11:00~13:00)						84	音声データと緑被率の関係に関する基礎研究：音による生態系評価へ向けて	相野田幸司	ELS English Language Center	53	堺市旧野田村地区における都市化による水路・農地利用の変容とカエル種生息分布への影響	谷 政智	和歌山大学大学院システム工学研究科	68	使用済み紙おむつのリサイクルによるパルプ再利用の環境影響評価	伊坪徳宏	東京都市大学環境学部						
11:30		62	東京湾埋立地の土地被覆がその周辺の熱・風環境に与える影響	江部杏奈	東京農工大学大学院農学府	環境教育・市民参加							大西暁生	34	Bangladesh-Dhaka市におけるウエスト・ビッカーを対象とした労働環境改善のための教育の必要性と教材開発の方向性に関する考察	佐藤秀樹	日本環境教育フォーラム/東京農工大学	環境心 理・情報	杉本卓也	80	テキストマイニングを用いた農場実習における大学生の学習内容の把握	山口創	神戸大学大学院農学研究科							
12:00																														
12:30																														
13:00	レクリエーション・観光	黒田貴綱	5	野外宿泊体験等を含む長時間の森林滞在が心身の回復に与える影響	高山範理	森林総合研究所	107	健康ウォーク継続のための支援システムに関する検討	木下朋大	関西大学大学院理工学研究科	31	参加型灌漑管理における管理者のコミュニケーションに影響を与える要因に関する研究	平山奈央子	滋賀県立大学環境科学部	環境心 理・情報	83	子どもの樹木景観認知構造に関する一考察-テキストマイニングによる試み	今田寛典	広島文化学園大学大学院社会情報研究科											
13:30		松岡俊二	90	産業連関表に基づく影響力係数を用いた経済波及効果分析手法の提案—東海三県の観光業において	佐尾博志	名城大学都市情報学部	57	富士山の登山者数の上限設定に対する登山者の意向	山本清龍	岩手大学農学部	高橋正弘	7	東京都多摩地域における市民協働による環境保全活動の実態について	高 敏	法政大学大学院政策創造研究科	94	テキストマイニングによる環境問題に関心を持つきっかけの分析	西村武司	総合地球環境学研究所											
14:00			36	長野県警察の山岳遭難記録に基づく、山岳遭難事故急増の背景と軽減方策に関する研究	小林昭裕	専修大学経済学部	104	横浜市和泉川における市民団体と行政の係わり合いの実態と課題	小海 諄	日本大学理工学研究科	菅田勝寛	59	Bangladesh-Dhakaサイクロン被災後の生活復興に向けた人々の行動におけるジェンダーの影響	伊藤優美	東京大学大学院新領域創成科学研究科															
14:30																														
15:00																														
15:30																														
16:00	創立45周年シンポジウム (15:00~17:30)																													
16:30																														
17:00																														
17:30																														
18:00																														
18:30																														
19:00	研究者交流会 (18:00~19:30)																													
19:30																														